※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	地理総合改訂版　世界に学び地域へつなぐ（山川出版社）						
副教材等	・新詳地理資料　COMPLETE（帝国書院） ・詳解現代地図最新版（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業時は、教科書・資料集・地図帳・ワークノートを必ず持参してください。
・レポート課題や小テストなど積極的に実施します。自宅での学習も含め計画的に取り組むようにしてください。
・グループワークなども行います。積極的に発言をしたり、友達と協力したりしながら取り組むことを意識してください。

２　学習の到達目標

・知識・技能…地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、地図や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
・思考力・判断力・表現力…社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次の通り育成することを目指す。
・主体的に学習に取り組む態度…地理にかかわる諸事象に関心を持ち、粘り強く課題に取り組む力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・地理にかかわる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解する。 ・地図や地理情報システム（ＧＩＳ）などを用いて、必要な情報を適切かつ効果的に集め、まとめる技能を取得する。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に捉え考察し、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	・地理にかかわる諸事象に関心を持ち、粘り強く取り組みを行おうとしている。 ・地理的課題の解決に向けて、主体的に追究・解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図とＧＩＳの活用	・球面上の世界	a：地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 b:球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 世界地図を図法の違いにより使い分けることができたか。 c:球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。 様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		地図とGIS	a:GISの特徴や利用方法､そのしくみについて理解し､GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やWeb GISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 b:身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。 紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 c:身のまわりの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。 GISの作業に意欲的に取り組み、 GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。			
		･国家の領域と国際関係	ａ:国家の領域に関する知識を身につけ､日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。 b:日本の位置と領域について世界的視野から捉え､日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 c:日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・人・モノ・情報のつながり	a：人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 b:複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 c:統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。 統計地図の作成に意欲的に取り組むことができたか。			

※令和４年度以降入学生用

	地理的環境の特色	・地形と生活文化 ・気候と生活文化	a：地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。 地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。 各気候の分布の特徴を理解できたか。 雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。 b:世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。 生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。 気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。 写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。 c:地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。 雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に			

※令和４年度以降入学生用

			探究できたか。 雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。			
2学期		・産業と生活文化	a：世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。 主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 b:自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 c:身近な商品が世界規模の産業構造のなかに位置づけられることを意欲的に探究できたか。 産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・言語・宗教と生活文化	ａ：世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。 主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。 b:生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。 国際化による現代の生活文化の変化について、多文化共生の観点から考察できたか。 c:世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。 国際化による現代の生活文化の変化について、事例を自ら調べまとめることに、意欲的に取り組めたか。			
	世界各地の生活文化	・経済発展と生活文化の変化～東アジア	a:図版や写真から社会経済システムの特徴と変化を捉え、課題を整理できたか。 中国や韓国を例に経済発展が生活文化に与えた影響について理解できたか。 b: 中国や韓国の工業の発達に伴う人口や環境などへの影響について、主題図などの資料をもとに考察できたか。日中韓の連携を学習内容から見出し、新しい関係づくりを捉えることができたか。 c: 身の回りの中国や韓国の商品を意欲的に調べ、中国や韓国の経済成長と課題について探究できたか。 日本を含めた日中韓の貿易や観光などの経済的な関係を意欲的に探究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・宗教の多様性と生活文化～ASEAN 諸国	a:図版や写真から多民族社会を構成する地域的な特徴を捉え、生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。東南アジアを例に、多様な民族が暮らす国々が統合を進めていった背景や課題について理解できたか。 b: 重層的、複合的に成立する東南アジアを例に、言語・宗教の観点で地域の特徴を見出すことができたか。 ASEAN の経済統合による生活文化の変化について考察し、課題を協議できたか。 c: 多様な言語・宗教からなる東南アジアのそれぞれの国における経済成長と経済格差について意欲的に探究できたか。			
		・モンスーンの恵みと生活文化～南アジア	a:図版や写真から自然環境を捉え、生活文化との対応や経済の変化を整理できたか。 モンスーンによる降水の恵みを受けた農業と生活文化の関わりについて理解できたか。 b: インドを例に自然環境と農業のつながりを資料をもとに考察できたか。経済発展による生活文化の変化と、それに伴う水問題の課題について考察できたか。 c: 生活文化と産業の進展の関連や市場経済の進展による自然環境への影響など、地域の課題を多角的、多面的に探究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・イスラーム社会の多様性と生活文化～イスラーム圏	a:図版や写真からイスラーム圏の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応を整理できたか。 豊富なエネルギー資源による恵みと生活文化の変化を理解できたか。イスラーム圏の課題を日本との関連をふまえて整理できたか。 b: 写真に見られる共通性と異質性をまとめたうえで、写真と地図を組み合わせて考察し、イスラーム圏の生活文化を説明できたか。 地域紛争の背景としての民族や宗教・宗派の違いについて考察できたか。 c: イスラーム圏の生活文化を意欲的に調べ、圏内の共通点や相違点を探究できたか。 課題がどのように日本と関わっているかを考え、日本や自身が取り組むべきことは何かを追究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・多様な自然の恵みと生活文化～アフリカ	a:図版や写真から多様な自然環境の特徴を捉え、自然環境と生活文化との対応と地域の変化を整理できたか。生活文化を地形や気候と関連づけ、農業と食文化の関連について理解できたか。 b: 地形、気候、歴史的背景とともに生活文化の多様性を考察できたか。経済成長による生活文化の変化と気候変動などをふまえ、アフリカの課題について捉え、課題やその対策を説明できたか。 c: 食文化や生活の工夫を調べ、多様な自然環境の広がりとの対応を見出し、意欲的に探究できたか。 アフリカの課題をまとめ、SDGs をふまえた課題解決策を考えたり調べたりできたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・経済統合による生活文化の変化～EU と周辺諸国	a:図版や写真から産業の発達や地域統合を捉え、自然環境や言語、宗教と関連づけて整理できたか。 産業の発達と地域統合が生活文化に与えた影響を理解できたか。 言語や宗派の違いを乗り越え EU が統合する背景を理解できたか。 b: ヨーロッパの農業と気候との対応や工業地域の近年の変化について、主題図をもとに考察できたか。 EU への加盟国と離脱する国があることをふまえ、EU 統合に伴う生活への影響を考察し、今後の課題について資料をもとに協議できたか。 c: 農業、工業の特徴を捉えるとともに、気候や地域統合の広がりなど他の要素との関連に関心をもって意欲的に取り組むことができたか。 言語・宗教の多様性と産業とを関連させながら地域統合とその課題について意欲的に探究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・寒冷地の開発と生活文化～ロシアと周辺諸国	a:図版や写真から寒冷な自然環境の特徴を捉え、生活文化や産業の発展と関連づけて整理できたか。 周辺国との関連から産業の発展を捉え、経済発展が自然環境へもたらす影響を理解できたか。 b: 寒冷な気候と生活文化との関連を捉え、開発が自然環境に与えた影響と課題について考察できたか。 日本周辺の自然環境とシベリアのつながりを捉え、自然環境の変化による影響を協議できたか。 c: 寒冷地域の自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、ロシアの特徴を意欲的に追究できたか。 経済と環境の両面をふまえた開発と自然環境の保全を意欲的に捉えることができたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・グローバル化による生活文化の変化～アングロアメリカ	a:図版や写真からアメリカの産業を捉えながら、世界の生活文化や経済への影響を整理できたか。 経済発展の基盤となる社会の多様性を捉え、アメリカの農業とグローバルな食文化との関係や産業の変化について理解できたか。 b: グローバルな観点からアメリカの社会経済システムを主題図などの資料から捉え、世界の経済や生活文化への影響を考察できたか。 産業や世界の貿易体制の変化を考察し、それに伴う世界やアメリカの課題について説明できたか。 c: アメリカの社会経済システムを農業、工業などの観点から多面的、多角的に捉え、世界への影響を意欲的に探究できたか。 アメリカの貿易体制の葛藤を学習内容から意欲的に考え、世界への影響をふまえながら追究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ	a:図版や写真から開発の背景を捉え、開発と自然環境、生活文化、産業との関わりを整理できたか。 資料から開発により生じているラテンアメリカの課題を読み取ることができたか。 b: 図版と写真から、自然環境と生活文化の共通性と異質性を開発の歴史から考察できたか。 資源を背景とした経済発展とそれに伴う経済格差の現状について、課題とともに協議できたか。 c: 自然環境と生活文化の相互の関連を捉え、開発の背景について意欲的に探究できたか。 都市問題や経済問題、環境問題などについて意欲的に調べ、その要因と解決について協議できたか。			
		・植民と移民による生活文化の形成～オセアニア	a:図版や写真から農業と鉱業の観点からみた開発の背景を比較しながら整理できたか。 周辺国とのつながりや多文化社会への取り組みを理解できたか。 b: ２つの国の開発の背景を比較し、共通点と相違点を考察できたか。開発とともに進んだ多民族化と多文化共生について資料をもとに考察できたか。 c: ２つの国を比較して開発の背景を捉え、植民と移民による産業の進展を意欲的に探究できたか。 ２つの国の課題を整理し、貿易や移民の変化を追究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

	地球的課題と国際協力	・人口・食料問題	a：世界人口の増加で生じる問題を世界的視野から理解し、人口増加地域と人口停滞地域における人口問題の違いを整理できたか。 人口資料をもとにした図版を読み取り分析することができたか。 b:世界の人口問題の現状について、増加による課題、減少による課題の両面から資料をもとに考察し、日本の人口問題についての提言を他国と比較しながら考察できたか。 c:世界や主要国の人口の推移を捉え、他国の事例を参考にして日本と比較しながら人口問題について意欲的に探究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

３学期		・居住・都市問題	a：世界の視野で都市人口率の増加を捉え、都市内部の視野で景観や場所による役割の違いをふまえながら都市の構造を理解できたか。 人口が集中する都市で生じる問題と都市計画が行われた事例から問題の対策例を整理できたか。 b:都市への人口集中を主題図やグラフから捉え、都市と農村の景観を比較しながら考察できたか。 人口集中と都市問題の発生、途上国と先進国の都市問題を通じ、人口集中によって生じる諸問題を資料をもとに考察し、SDGs の目標とともに解決の方策や課題を提案できたか。 c:世界的な視野と地域的な視野で縮尺を変え、都市問題の事例をもとに多角的、多面的な視点で都市問題の構造を意欲的に探究できたか。途上国の都市問題について先進国での都市計画などを参考に、国際協力の立場で課題解決に結びつけることができたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・資源・エネルギー問題	a：主題図から資源の分布が偏在していることを理解できたか。 限りある資源の問題を解決するためのリサイクルや再生可能エネルギーのしくみを理解できたか。 b:主題図などをもとに鉱物資源とエネルギー資源の分布と今後の将来需要を予測し、SDGs の目標をふまえ今後必要な鉱物やエネルギーの利用について提案できたか。 c:日常利用されている鉱物資源やエネルギー資源を調べ、その輸入先やリサイクルなどの現状を意欲的に探究し、持続可能な利用について追究できたか。			

※令和４年度以降入学生用

		・地球環境問題	a：持続可能な社会を目指すSDGs の目標と趣旨を理解できたか。 国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。 環境問題の現状を捉え、原因や影響を図解して整理できたか。 b:世界のどこで、どのような地球環境問題が生じているのかを資料をもとにまとめ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。 SDGs の目標をふまえ、海や陸の豊かさを守るための国際的な取り組みや具体的な対策を提言できたか。 c:地球環境問題のしくみや原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。	定期考査　小テスト	定期考査　小テスト　グループワーク　レポート	ノート提出　授業態度・発言　振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度